

"オール与党"の

円高・不況対策

国の無策に追隨する

府を批判

円高のもと、府下の中小企業
の六割が受注減、八割以上が單

外進出で、国内空洞化を生んでいた実態とともに、府が政府の無策に追隨し、リストラを促進する施策を進めていると批判。リストラ規制や雇用確保のための条例制定、融資対策のいつそうの改善を求めました。

戦後五十年

医療官贈収賄、鶴田前副知事接待問題

一連の不祥事件を追及

鶴田副知事の退任に関する申し入れ

東京協和信組接待同席の疑惑にフタをしたままの退任は許されない

一九九五年六月九日 日本共産党京都府議会議員団

京都府知事 荒巻 穎一様

一 通産省から派遣されて二年前に副知事に就任した鶴田氏が、任期途中の六月十日付で副知事を退任して、通産省に帰ることが明らかにされた。

一 鶴田副知事は、重大な政治問題となっている「東京二信用組合」問題で、東京協和信組合による京都での大蔵官僚接待の宴席に同席していた事実が指摘されていた。にもかかわらず、知事は「厳重に注意した」

東京協和信組による大蔵官僚接待の宴席に鶴田前副知事が同席し問題化、その真相を明らかにしないまま任期途中退任

した問題や、診療報酬の請求指導をめぐり贈収賄容疑で府指導医療官が逮捕される事件など、一連の不祥事が京都府で発生。西山議員は「逮捕された医療官は恐喝のうわさがあり、歯科保

一ヵ月に一度は会っていた」とことを明らかにしており、昨年三月八日の宴席についても「こちらで席をもうけましょう」と申し出たとされており、府政との関係も含めて、「同席」の理由を明らかにするべきである。

一連の疑惑との関係について、府民の前に何も明らかにせず、しかも問題が明らかになつてから初めて迎える定例府議会の開会直前に、任期の途中で退任することは、疑惑にフタをするための退任と見られても仕方がないと言わなければならぬ。

一 わが議員団は、鶴田副知事が退任するなら、それまでに最低 知事と鶴田副知事が、「同席」問題について、府民の前に真相を明らかにすることを強く求めるものである。

会図書館関西館や和風迎賓館の説教のお願いで